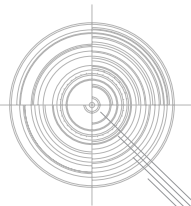




NEC

Aterm[®] WL7600AP

無線 LAN ご利用ガイド



「ソフトウェアのご使用条件」は、4 ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

このたびは、本商品をお選びいただきまことにありがとうございます。

このガイドでは、本商品を無線でご使用いただく場合の設定方法について説明しています。

ご利用の環境にあわせて設定を行ってください。

※無線 LAN ご利用の場合には、本商品（親機）に WL54AG が装着されていることを確認してください。装着のしかたはつなぎかたガイドを参照してください。

- Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Mac、Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- AirMac は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Netscape® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- “PlayStation®” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
- JavaScript® は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。
- Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Atheros™、ABG、Super AG および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2003、2004 © NEC AccessTechnica, Ltd. 2003、2004
日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

はじめに	2
目次	3
ソフトウェアのご使用条件	4
本商品に添付の CD-ROM について	6
安全に正しくお使いいただくために	8
ご使用にあたって	15
各部の名前とはたらき	15
WL54AG のご利用について	18
無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意 (お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)	19
ワイヤレス機器の使用上の注意	20
1 本商品(親機)との通信を確立する	21
※つなぎかたガイドで設定済の場合は、設定の必要はありません。	
無線 LAN 内蔵パソコンから接続する	23
AirMac 対応のパソコンで接続する	26
2 親機(WL7600AP)の設定をする <クイック設定 Web>	28
3 子機(WL54AG)の設定をする<サテライトマネージャ>	31
サテライトマネージャの使い方	31
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で設定を行うには	38
子機(WL54AG)のドライバをアンインストールする	44
4 無線のセキュリティ対策をする	45
5 トラブルシューティング	53
設置に関するトラブル	53
ユーティリティに関するトラブル	57
子機に関するトラブル	58
ご利用開始後のトラブル	64
添付の CD-ROM に関するトラブル	64
パソコンのネットワークを設定する	65
JavaScript® の設定を確認する	71
本商品(親機)を初期化する	75
自己診断を行う	77
6 お問い合わせ	78
お問い合わせについて	78
本商品の輸送時のお取り扱いについて	78
7 製品仕様	79
WL7600AP(親機)ハードウェア仕様	79
WL7600AP(親機)のディップスイッチ	81
WL7600AP(親機)の ETHERNET ポートインターフェース	82
WL54AG(子機)仕様	83

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用权を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行ないません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものと（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「この CD-ROM について」をよくお読みください。

- ① パソコンに表示されるガイドに従って導入や基本的な設定などを行う「らくらくウィザード」(Windows® 版)
- ② 子機(無線 LAN カード)の無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ③ 子機(無線 LAN カード)用のドライバー式(Windows® 版)

【ご使用上のご注意】

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 でご使用の方

- 添付の CD-ROM をセットしても「この CD-ROM について」の HTML ファイルが起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥index.html と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥index.html)また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「この CD-ROM について」の HTML ファイルを閉じたあとに行ってください。
- Windows® XP/2000 Professional でらくらくウィザードのインストール、ドライバーのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログインしてください。

CD-ROMの動作環境

● Windows® 動作環境

- ・ Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

・ 推奨環境

ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

メモリ 32MB 以上

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ



お知らせ

● 表示画面

・ サイズ：800 × 600 ピクセル以上

・ 色：High-Color 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。




- 「このCD-ROMについて」と「らくらくウィザード」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

・ Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の電源プラグは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- 電源プラグにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品の電源プラグは日本国内用 AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理持ち込み先または連絡先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先または連絡先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先または連絡先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先または連絡先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となる場合があります。

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本商品をペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。
- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

注意

設置場所

- 本商品は温度 0～40℃、湿度 10～90%の結露しない環境でご使用ください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 横向きに寝かせる
 - ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

注意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- 感電防止のため、アース線の接続は必ず本商品の電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで180m程度（IEEE802.11a通信時は90m程度）です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また、距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

その他の注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

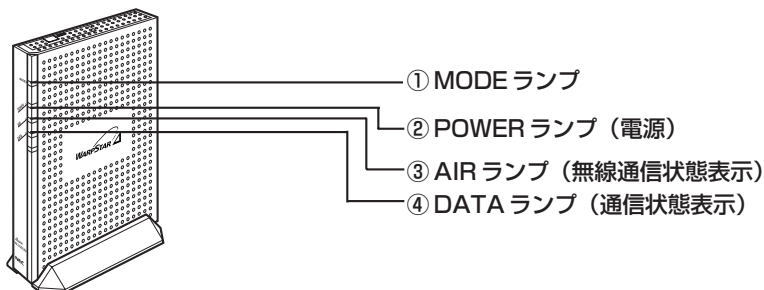
- 無線 LAN 接続では、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ、遅くなることがあります。
- 無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

ご使用にあたって

各部の名前とはたらき

■ WL7600AP

● 前面図

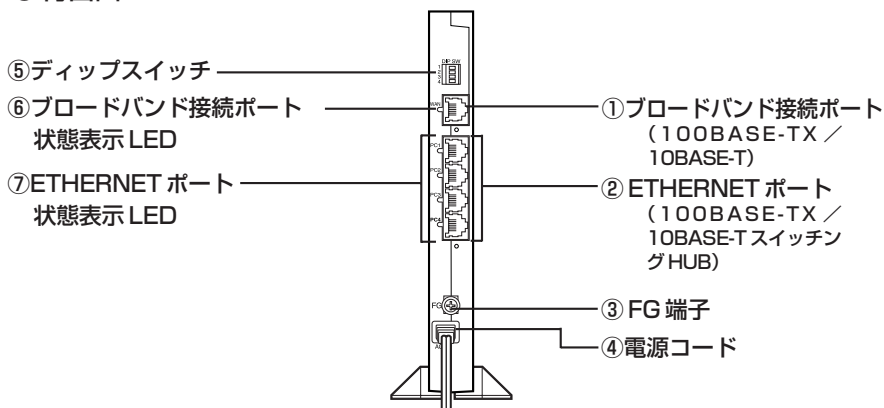


【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	本商品の状態
① MODE ランプ	緑 (点灯)	IEEE802.11g+b 通信モードで通信中
	緑 (点滅)	IEEE802.11g 通信モードで通信中
	橙 (点灯)	IEEE802.11a 通信モードで通信中
② POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤 (点滅)	バージョンアップが失敗したとき*
③ AIR ランプ (無線通信状態表示)	緑点灯 (点滅)	無線通信でデータを送受信しているとき (本商品 (親機) 側から子機側を検索するなど、 本商品 (親機) 側から一方的にデータを出力し ているときも点滅します。)
④ DATA ランプ (通信状態表示)	緑点灯 (点滅)	ETHERNET ポートまたは無線で接続された機器が WAN 側とデータの送受信をしているとき

※この状態ではご利用になれません。別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

● 背面図

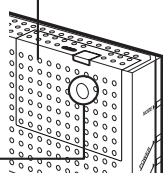


名称	説明
①ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。
②ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T スイッチング HUB)	パソコンまたはハブやゲーム機との接続に使用します。
③FG 端子	アース線を取り付ける端子です (アース線は添付されていません)。
④電源コード	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。
⑤ディップスイッチ	本商品の初期化・自己診断をするとき、IEEE802.11a 専用通信モードで使用するとき使用します。
⑥ブロードバンド接続 ポート状態表示 LED	緑点灯 ブロードバンドモデムが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅 ブロードバンドモデムとデータ送受信中
⑦ETHERNET ポート 状態表示 LED	緑点灯 パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅 パソコンまたはハブとデータ送受信中

● 側面図

開閉カバー

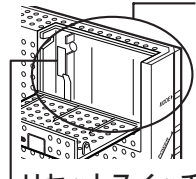
ワイヤレス LAN カードの装着やリセットスイッチを使用するときは、このカバーを開けます。
(●P18、76、77)



<開閉カバー内部>

拡張カードスロット

ワイヤレス LAN カード WL54AG を装着することができます。



リセットスイッチ

本商品（親機）を再起動するときに使用します。
(●P76、77)

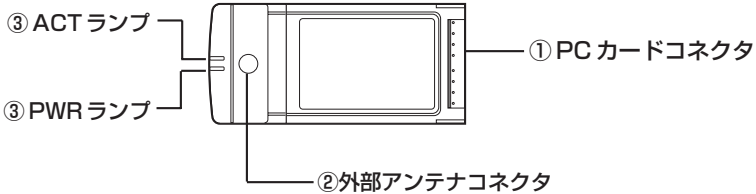
外部アンテナコネクタ
カバー

ワイヤレス LAN カードを装着した際、外部アンテナを接続するときにカバーを切り取って使用します。



- 拡張カードスロットの WL54AG を取り外すときや装着するときは、必ず本商品（親機）の電源を切ってください。

■ WL54AG（子機）



① PC カードコネクタ

パソコンの PC カードスロットに差し込みます。

(注) ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

② 外部アンテナコネクタ

外部アンテナを接続するときに使用します。使用するときは、キャップを外してください。

③ PWR ランプ（電源）／ ACT ランプ（通信表示）

【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54AG の状態
2 つのランプが同時に点滅	通信中 (通信量により点滅速度が変化します)
2 つのランプが同時に遅く点滅	通信待機中 (通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2 つのランプが交互に遅く点滅	本商品（親機）をサーチ中 (無線接続が確立されていません)
PWR ランプのみ点滅 (ACT ランプ消灯)	電源オフ (無線接続オフ設定時、またはドライバ無効の状態)



- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

WL54AGのご利用について

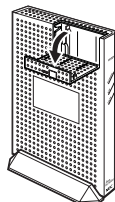
WL54AGは、WL54AGに対応した拡張カードスロットのある本商品（親機）に装着、または、子機としてパソコンに接続してワイヤレス通信を行うことができます。

本商品（親機）に装着してご利用の場合

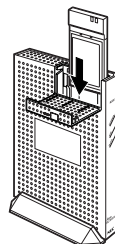
■装着のしかた

装着する際は、本商品（親機）の電源を切った状態で取り付けてください。

- 1 本商品（親機）の側面の開閉カバーを開く



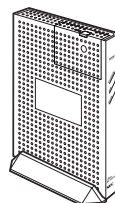
- 2 無線LANカードを拡張カードスロットに装着する



- 3 本商品（親機）の電源コードを接続する

WL54AGのACTランプ、PWRランプが点滅することを確認してください。

- 4 開閉カバーを閉める



■子機として利用できる機器

装着したときに利用できる子機の最新情報は、ホームページにてご確認ください。ホームページのアドレスについては別紙を参照してください。

子機としてご利用になる場合

本書などを参照して、接続と設定を行ってください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意 (お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定がほどこされていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

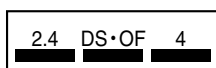
セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、「Aterm インフォメーションセンター」(連絡先は、別紙をご確認ください。)までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

- IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b/Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS・OF : DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本商品（親機）との通信を確立する

本商品（親機）との無線通信を確立するには、次の手順で設定を行ってください。

増設した子機から接続する場合、本商品（親機）にMACアドレスセキュリティの設定を行っている場合は、「無線のセキュリティ対策をする」(●P45)を参照して子機の情報に登録してから接続してください。

子機（WL54AG）の場合

「つなぎかたガイド」を参照して設定を行ってください。

らくらくウィザードをインストールする

らくらくウィザードで設定する

子機（WL54AG以外）の場合

子機に添付の取扱説明書を参照して設定を行ってください。本商品（親機）の初期値については下記を参照してください。

無線LAN内蔵パソコンの場合

本書「無線LAN内蔵パソコンから接続する」(●P23)を参照して設定を行ってください。

本商品（親機）との通信状態を確認する

インターネット接続を確認する



お知らせ

- WL7600AP（親機）の初期値は次のように設定されています。

ESS-ID（ネットワーク名）：[WARPSTAR-XXXXXX]

（XXXXXXは本商品（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁です。）

暗号化（WEP）：使用しない

無線動作モード：802.11g + bモード

（次ページに続く）

お願い

- 子機（WL54AG）からサテライトマネージャで接続する場合は、サテライトマネージャを必ずタスクトレイに常駐した状態でご使用ください。常駐しないと無線 LAN 接続ができない場合があります。
- Windows® XP/2000 Professional 上で WARPSTAR ユーティリティを使用する場合は管理者権限のあるユーザアカウントでご使用ください。管理者権限がないと、らくらくウィザード、サテライトマネージャの接続設定や無線 LAN 接続などができなくなります。

無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

無線 LAN 内蔵パソコンから本商品（親機）にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより本商品の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定 Web (●P28) またはディップスイッチ (●P81) で変更します。
 - ・ IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線規格に対応している場合
→ 802.11g+b モード (初期値)
 - ・ IEEE802.11a の無線規格に対応している場合
→ 802.11a モード

■無線 LAN 内蔵パソコンの設定

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと本商品（親機）との無線通信を確立する設定を行います。

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

- 1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する
 - ・ 点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
 - ・ ワイヤレススイッチには「ホットキー」タイプと「プッシュ式トグルスイッチ」タイプと「スライド式スイッチ」タイプがあります。それぞれのワイヤレススイッチのオン/オフのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ネットワーク接続] をクリックする
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4

【ワイヤレスネットワーク】タブをクリックする

①「Windows®を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する。

②「最新の情報に更新」をクリックし、「利用できるネットワーク一覧」から接続する本商品（親機）「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし、「構成」をクリックする。

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは本商品（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



お知らせ

- 一覧を更新しても本商品（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、一度本商品（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、本商品（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。
- ESS-ID ステルス機能が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に本商品（親機）のネットワーク名が表示されません。ESS-ID ステルス機能は無効にしてご利用ください。

5

ネットワーク名 (ESS-ID) と暗号化 (WEP) 設定を確認して [OK] をクリックする

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されセキュリティの設定ができますが、出荷状態のまま本商品（親機）をご使用の際は、暗号化が設定されていないので、そのまま [OK] をクリックしてください。





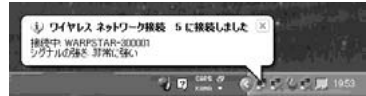
お知らせ

- セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
- セキュリティの設定を行う場合、本商品（親機）で暗号キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に本商品（親機）と同じ暗号キーを入力してください。本商品（親機）の暗号キーの設定方法、確認方法については、＜暗号化の設定（親機）＞（●P51）を参照してください。ただし、本商品（親機）の暗号化の設定が152bitWEPやAES、TKIPを使用している場合は、接続できません。
- キーのインデックス（詳細）では0～3が選択できます。
これは、本商品（親機）の[暗号キー番号]の1番～4番に相当します。
数字が1つずれていますので注意してください。
(Windows® XP SP1の場合は本商品（親機）と同じ1～4が選択できます。)

6

[OK] ボタンをクリックする

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



AirMac 対応のパソコンで接続する

画面表示は Mac OS のバージョン等により、変わることがあります。
ここでは Mac OS X の場合を例に説明しています。

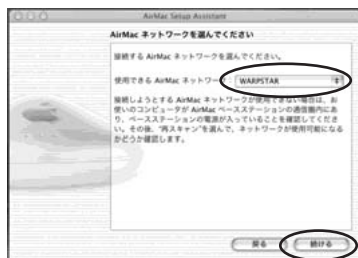
1 「AirPort Setup Assistant」を起動する

2 「既存のワイヤレスネットワークに接続させる設定をする」を選択し、 「続ける」をクリックする



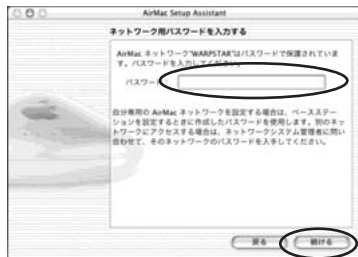
3 「使用できる AirMac ネットワーク」で本商品（親機）のネットワーク名を選択し、 「続ける」をクリックする

本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは本商品の側面に記載されている MAC アドレスの下6桁）です。



4 本商品（親機）にパスワードを設定している場合は、「パスワード」を入力し、 「続ける」をクリックする

※ ここで入力するパスワードは、[クイック設定 Web] - [無線 LAN 設定] - [暗号化キー] で設定した「暗号化キー」です。



1 本商品（親機）との通信を確立する

5 【続ける】 をクリックする



6 【終了】 をクリックする



1
本商品（親機）との通信
を確立する

お知らせ

Mac OS 9.2.1 をご利用の場合

● Mac OS 9.2.1 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

- ① AirMac に接続した Macintosh を起動する
- ② [メニューバー／アップルメニュー] から [AirMac] を選択する
AirMac の設定ツールが起動します。
- ③ [AirMac ネットワーク] の [ネットワークの選択] 欄のプルダウンメニューから、本商品（親機）を選択する

※本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は本商品（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

ネットワークの選択リストに「WARPSTAR」がない場合は、本商品（親機）の電源を切り、再度電源を入れ直して、20 ～ 30 秒待ってから再度、プルダウンメニューをクリックしてください。（電源は、10 秒ほど待ってから、入れ直してください。）

2

親機 (WL7600AP) の設定をする ＜クイック設定 Web＞

■クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。



本商品（親機）の設定を行うには、パソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっている必要があります。

確認方法は、「トラブルシューティング」「パソコンに IP アドレスが設定されていない」（●P55）を参照してください。

設定がされていない場合は、「パソコンのネットワークを設定をする」（●P65）を参照して設定を行ってください。

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、 「http://192.168.0.210/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

※本商品（親機）の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。（本商品（親機）の IP アドレスの変更方法（●P29））



3 ユーザー名と管理者パスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには設定した管理者パスワードを入力してください。

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

※パスワード入力画面が表示されないときには（●P56）



4 [OK] をクリックする



●クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして本商品（親機）を再起動してからでないとう有効になりません。

■クイック設定 Web で設定を行う

クイック設定 Web で行える設定は次の通りです。
プルダウンメニューから設定項目を選択します。

設定を行ったあとは【設定】をクリックし、【登録】をクリックし、本商品（親機）に設定を登録してください。

<基本設定>

本商品（親機）の IP アドレス、ネットマスク、WAN 側インタフェースの設定を行います。



<詳細設定>

本商品（親機）の無線に関する設定を行います。

【アクセスポイント設定】

ネットワーク名 (ESS-ID)：無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力します。本商品（親機）の出荷時設定は WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX は、本商品（親機）に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) です。

無線動作モード：無線ネットワーク内で使用する無線動作モードを選択します。

使用チャンネル：無線ネットワーク内で使用するチャンネルを設定します。電波干渉がある場合に使用する無線チャンネル番号を変更してください。

送信出力：他のネットワークへの電波干渉を減らしたいときなどに使用します。

SuperA/G 機能：SuperA/G 機能を使用して無線の実効スループット（速度）を高速化する場合に設定します。使用する（圧縮あり）／使用する（圧縮なし）／使用しないから選択します。圧縮ありを指定すると、さらに通信速度は向上しますが、圧縮効率の悪いファイルの転送時などでは、かえって速度が低下してしまう場合があります。

【暗号化】、【子機の接続制限】については「4 無線のセキュリティ対策を設定する」(P45) を参照してください。



2
親機 (WL7600AP) の
設定をするハクイック設定 Web

<メンテナンス>

管理者パスワード設定：管理者パスワードの変更が行えます。

設定値の保存&復元：本商品（親機）の設定を保存できます。

設定値の初期化：本商品（親機）の設定値を初期化します。（P75）

ファームウェア更新：次の手順で本商品（親機）のバージョンアップを行うことができます。

1 最新のファームウェアをホームページからダウンロードする
※ホームページについては、本商品に添付の「つなぎかたガイド」を参照してください。

2 メンテナンスの ▾ から「ファームウェア更新」を選択する



3 [参照] をクリックする

4 ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

5 [更新] をクリックする

6 [OK] をクリックする

しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示されます。

7 [OK] をクリックする

<情報>

本商品（親機）のファームウェアのバージョン、無線モードなどの情報が表示されます。



3

子機 (WL54AG) の設定をする ＜サテライトマネージャ＞

子機 (WL54AG) の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANのデータ保護 (暗号化) の設定はサテライトマネージャで行います。

- ※サテライトマネージャは、無線LAN内蔵パソコンではご利用になれません。子機が無線LAN内蔵パソコンの場合は「無線LAN内蔵パソコンから接続する」(●P23)を参照してください。
- ※Windows® XPの場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定することができます。(「Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で設定を行うには」(●P38))。ただし、WEP (152bit)、TKIP、AES、ESS-IDステルス機能はご利用になれません。

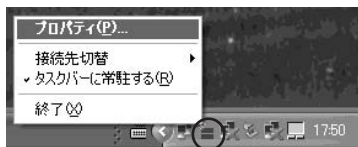
サテライトマネージャの使い方

■サテライトマネージャを起動する

- 1 [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする

通知領域 (タスクトレイ) に [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックする



- 3 [プロパティ] を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる親機 (アクセスポイント) の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

グラフ表示
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度 (信号強度) をグラフで表示します。

詳細設定
無線機能のON/OFF設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。



3

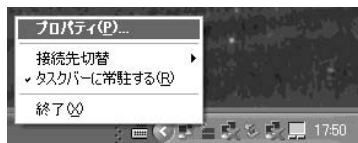
子機 (WL54AG) の設定をする
↑サテライトマネージャ↓

■ サテライトマネージャで詳細設定をする

- 1 サテライトマネージャを起動する
[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする

通知領域 (タスクトレイ) に [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する



- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

- 4 接続先のネットワーク名をクリックして、[設定] または [親子同時設定] をクリックする

本商品 (親機) の出荷時設定は WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX は本商品 (親機) の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) です。

新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。



5

無線 LAN の設定を行う

■親機も同時に設定する場合

手順 4 で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

【ネットワーク名】

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

【無線動作モード】

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

【チャンネル番号】

親機と通信するチャンネルを選択します。

【暗号化モード】

●暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は 0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ~ 9, a ~ f, A ~ F で構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する
- ② 親機に設定した暗号化キーを入力する
暗号化キーは、8 ~ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。



3

子機 (WL54AG) の設定をする
サテライトマネージャ

無線モードの選び方

- 802.11a ……電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。
- 802.11g ……802.11a よりも広い範囲で高速な通信が可能です。
- 802.11g+b ……802.11b にしか対応していない子機との混在環境での利用に適しています。

(次ページに続く)

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・ 8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

・ 64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

※暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

■子機のみ設定する場合

手順4で「設定」をクリックした場合は、使用する親機にあわせて次のように設定します。

【ネットワーク名】

親機の設定にあわせてネットワーク名を入力します。手順4で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

【通信モード】

アクセスポイント通信を選択します。

【暗号化モード】

親機の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。



6

【登録】をクリックする

お願い

- 同じネットワーク名（ESS-ID）を設定した複数の親機（アクセスポイント）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの【ネットワーク一覧】のチャンネル表示が【状態】の表示と異なる場合があります。【状態】表示の値を参照してください。
- 2台目以降の子機を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 親機で「WPA-TKIPモード」を使用している場合、子機側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIPモード」または「WPA-AESモード」のどちらの暗号化モードでも親機に接続できます。



お知らせ

- [詳細設定] タブをクリックすると、[詳細設定] で次の設定が行えます。



・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスリープが低下します。

・送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために子機が行っている、無線LANネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

- 暗号化（WPA-PSKモード）を有効にすると、サテライトマネージャの起動または接続設定を実行してから無線LAN通信が可能になるまでに、多少時間がかかる（数10秒程度）ことがあります。



サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

【プロパティ】：

通信モードの設定、暗号化をすることができます。

【状態】タブで親機との接続状態を確認することができます。

無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

【接続先切替】：

サテライトマネージャで設定した接続先（親機）を切り替えて使用できます。

【タスクバーに常駐する】：

【タスクバーに常駐する】にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

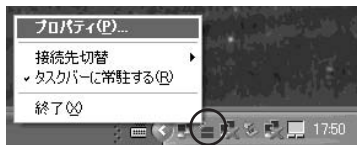
【終了】：

サテライトマネージャを終了します。

■親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）の [サテライトマネージャ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する



子機が正しく接続されていません。

親機がみつかりません。

親機が正しく検出できています。

親機との電波の状態は次のとおりです。

	青 3本		黄 2本
	強い		弱い
	青 2本		赤 1本
	普通		限界

- 2 [状態] タブをクリックする
親機と子機の通信状態が表示されます。



3 通信状態を確認し、[閉じる] をクリックする

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。



■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



【状態】 - 【チャンネル状況】

近くのアクセスポイント（親機など）が、どのチャンネルで使われているかを表示します。同じ無線チャンネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャンネルをチェックすることができます。現在、接続中のチャンネルは赤で表示されます。



3

子機 (WL54AG) の設定をする
サテライトマネージャ

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で設定を行うには

Windows® XPの場合は、子機（WL54AG）の設定をWindows® XPに内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。

ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP（152bit）、TKIP、AES、ESS-ID ステルス機能は、ご利用になれません。暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。通常はWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

❗ らくらくウィザードで設定を行った場合

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

- ①サテライトマネージャを起動する
- ②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ③「詳細設定」タブをクリックする
- ④「Windows XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

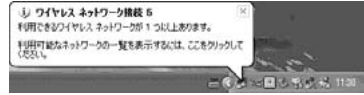


- ⑤「閉じる」をクリックする

- 暗号化設定されていない本商品（親機）に接続する場合（☛P39）
- 暗号化設定されている本商品（親機）に接続する場合（☛P40）

■本商品 (親機) に接続する (暗号化設定されていないとき)

1 パソコンの画面右下の通知領域に右のようなバルーンが表示される



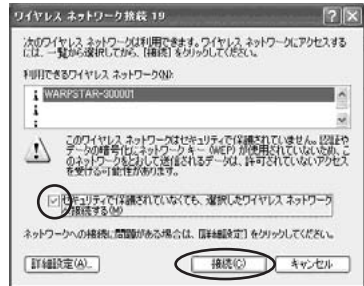
表示されないときは「トラブルシューティング」(P63) を参照してください。

2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

3 「利用できるネットワーク」を選択する

- 工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXXは、本商品 (親機) の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) です。
- 「利用できるネットワーク」に使用する本商品 (親機) が表示されていない場合には、本商品 (親機) の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。

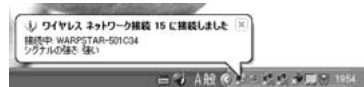
●右の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていないネットワーク」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。



4 [接続] をクリックする



5 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



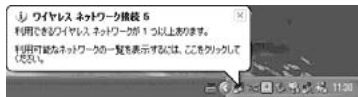
3 子機 (WL54AG) の設定をする<サテライトマネージャ>

■暗号化を設定して本商品（親機）に接続する（暗号化設定されているとき）

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP/128bitWEP をご利用になる場合の説明です。本商品（親機）に 152bitWEP、TKIP、AES、ESS-ID ステルス機能が設定されている場合、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止してサテライトマネージャで設定を行う必要があります。

※暗号化の設定を行う場合は必ず本商品（親機）側を先に設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右のようなバルーンが表示される



表示されないときは「トラブルシューティング」(P63) を参照してください。

- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

- 3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は、本商品（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。
- ・[利用できるネットワーク] に使用する本商品（親機）が表示されていない場合には、本商品（親機）の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。

●お願い

- [このネットワークで IEEE802.1x を有効にする] の は必ず外してください。



<Windows® XP Service Pack 1 のとき>

- 4 本商品（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合、[ネットワークキー] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする

※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は手順 5 に進みます。

5

[詳細設定] をクリックする

6

接続する本商品 (親機) のネットワーク名をクリックし、[構成] をクリックする

すでに接続する本商品 (親機) のネットワーク名が [優先するネットワーク] に表示されている場合は、[優先するネットワーク] 欄からネットワーク名を選択し、[プロパティ] をクリックします。



7

①～⑤の設定を行う

- ① [データの暗号化] にチェックする
 (画面に [ネットワークアソシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ [開いています] [WEP] を選択する)
- ② [キーは、自動的に提供される] のチェックを外す
- ③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する
 ASCII 文字 / 16 進数の識別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 ・ ASCII 文字の場合：英数字 5 文字、または 13 文字で指定 (13 文字は親機に 128bitWEP を設定している場合のみ)
 ・ 16 進数の場合：0～9 ・ a～f ・ A～F で 10 文字、または 26 文字で指定 (26 文字は親機に 128bitWEP を設定している場合のみ)
- ④ 親機の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のままご利用ください。
- ⑤ [OK] をクリックする



画面は例です

3

子機 (WL54AG) の設定をする<サテライトマネージャ>

! 暗号化設定< Windows® XP Service Pack 1 以外の場合 >

- ① [データの暗号化] にチェックする
- ② [キーは、自動的に提供される] のチェックを外す
- ③ [ネットワークキー] は、本商品（親機）に入力した暗号化キーを入力してください。

キーの形式：

本商品（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。

本商品（親機）で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：

本商品（親機）で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40ビットを選択してください。

本商品（親機）で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104ビットを選択してください。

キーのインデックス：

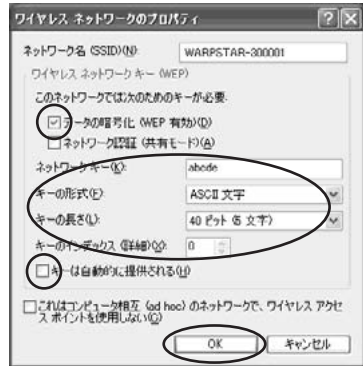
特に使いません。

0～3がありますが、0のままご使用ください。

（1～3に別の暗号化キーを登録しておき、[キーのインデックス] を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。）

※本商品（親機）側は、クイック設定 Web の [無線 LAN 側設定] - [暗号化 (WEP)] で使用する暗号化キーを確認してください。

- ④ [OK] をクリックする



■本商品（親機）との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] は「接続」になっていること
- ・[速度] が「1 ~ 54Mbps」になっていること



3 子機 (WL54AG) の設定をする<サテライトマネージャ>

子機 (WL54AG) のドライバをアンインストールする

1 [スタート] - [(すべての) プログラム] - [WARPSTAR ユーティリティ] - [ドライバのアンインストール] を選択する

2 [はい] をクリックする

3 画面の指示が出たら、タスクバーのカードアイコンをクリックして、[NEC AtermWL54AG (PA-WL54/AG) Wireless Network Adapter を安全に取り外します] をクリックする

4 取り外し可能のメッセージが表示されたら [OK] (Windows® XP の場合は ⓧ) をクリックする

5 子機 (WL54AG) を取り外す

6 [OK] をクリックする

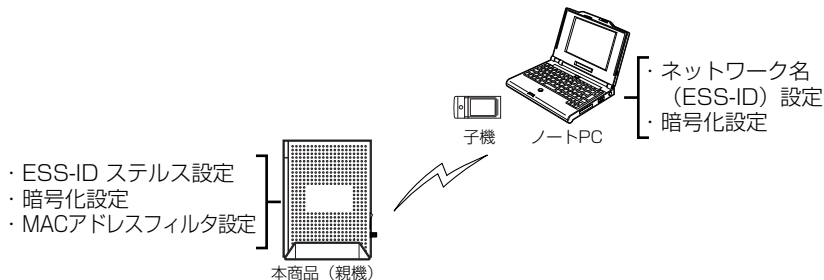
7 アンインストールするドライバを選択し、[実行] をクリックする



8 画面の指示に従ってアンインストールを行う

無線のセキュリティ対策をする

本商品は、他の無線LANパソコンから本商品（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-ID ステルス機能、無線暗号化機能、MAC アドレスセキュリティ機能を搭載しています。子機が複数ある場合は、それぞれの子機についてセキュリティの設定を行う必要があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



❓ セキュリティ対策を行うことの重要性について

ワイヤレス子機による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

ESS-ID ステルス機能：

本商品（親機）が第三者からのESS-IDの参照に回答しないようにすることで、不正アクセスの対策を行います。

MAC アドレスセキュリティ機能：

特定の端末のみを本商品（親機）に登録することで、不正アクセスの対策を行います。

無線暗号化機能：

本商品（親機）と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することで、第三者による傍受や盗聴の対策を行います。

お願い

- 本商品（親機）側の設定をMacintoshパソコンから行う場合は、本商品（親機）のETHERNETポートに接続して設定してください。子機（WL54AG）はMacintoshではご使用になれません。

■ ESS-ID ステルス機能を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (ESS-ID とも呼びます) があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に回答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。子機側から親機への接続は、サテライトマネージャをお使いください。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.210/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

※本商品 (親機) の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。(本商品 (親機) の IP アドレスの変更方法 (P29))

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

5 [アクセスポイント設定] で設定を行う

①「ネットワーク名 (ESS-ID)」：使用するネットワークの名称を入力します。本商品 (親機) の初期値は WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX は本商品 (親機) の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) です。

②「無線動作モード」：ネットワーク内で使用する無線の通信規格を「802.11g + b」、「802.11g」、「802.11a」から選択します。

③「チャンネル番号」：本商品 (親機) がネットワーク内で使用するチャンネルを選択します。

※電波干渉がある場合に使用する無線チャンネル番号を変更してください。



6 【ESS-ID ステルス機能】を【使用する】にする



7 【設定】をクリックする



8 【登録】をクリックする

本商品（親機）前面の各ランプが点滅して、本商品（親機）が再起動します。

4
無線のセキュリティ対策をする

■ MAC アドレスセキュリティ機能

MACアドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない子機からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

<クイック設定 Web で設定する>

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.210/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

※本商品（親機）のIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。（本商品（親機）のIPアドレスの変更方法（P29））

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[MAC アドレスフィルタ設定] を選択する

5 [接続を許可する MAC アドレス編集] 欄で設定する

① エントリ番号を選択する

② 指定方法を選択する

手動設定：MACアドレスに直接無線接続を許可する子機のMACアドレスを入力します。

選択設定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。

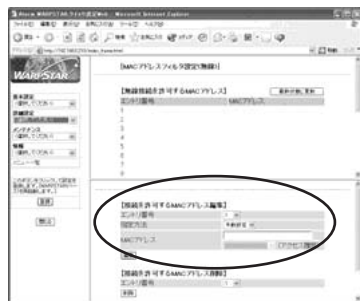
③ 手動設定の場合は、登録する子機のMACアドレスを入力する

MACアドレスは2文字ずつコロんで区切って入力してください。

例) MACアドレスがXX-XX-XX-XX-XX-XXの場合は、XX:XX:XX:XX:XX:XXと入力します。

子機のMACアドレスは子機の裏に記載されています。

選択設定の場合は、「アクセス履歴」から登録する子機のMACアドレスを選択します。



6

【編集】 をクリックする

続けて設定する場合は、手順5にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

7

【最新状態に更新】 をクリックする


設定内容に間違いがないか確認してください。

8

【設定】 をクリックする

変更した内容をクイック設定 Web に登録するため、ここでいったん **【設定】** をクリックしてください。

9

【詳細設定】 の  をクリックし、**【無線 LAN 側設定】** で、**【MAC アドレスフィルタ機能】** を **【使用する】** に する



10

【OK】 をクリックする

11

【設定】 をクリックする

12

【登録】 をクリックする

本商品（親機）前面の各ランプが点滅して、本商品（親機）が再起動します。

4

無線のセキュリティ対策をする

■無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本商品（親機）と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、本商品（親機）と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。ここでは本商品（親機）側の設定を説明しています。サテライトマネージャを利用して本商品（親機）と子機の設定を行うこともできます。（●P32）

<暗号化方式について>

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)**
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。
- **TKIP (Temporal Key integrity Protocol)**
Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル (WPA) に採用の暗号化方式。パケットごとに暗号化キー (WEP) を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。
- **AES (Advanced Encryption Standard)**
米商務省技術標準局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品（親機）と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。（●P33、40、51）
- 暗号化キーは無線アクセスポイント1つにつき1つだけ使用します。複数の子機を使用する場合、すべての子機に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。らくらくウィザードで暗号化の設定を行った場合、暗号化キーは1番に設定されています。
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、AES、TKIPの暗号化方式をご利用になるには、対応した子機が必要です。
- 親機で「WPA-TKIPモード」を使用している場合、子機側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIPモード」または「WPA-AESモード」のどちらの暗号化モードでも親機に接続できます。

<暗号化の設定(親機)>

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.210/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

※本商品(親機)のIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。(本商品(親機)のIPアドレスの変更方法(●P29))

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の  をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

5 [暗号化] の項目で設定する

■暗号化モードでWEPを使用する場合

① [暗号化モード] で [WEP] を選択する

② 暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。

③ [指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16進数] のどちらかを選択する

※ [英数字] → 英数字 (0~9, a~z, A~Z) の組み合わせで暗号を作成します。

[16進] → 16進 (0~9, a~f, A~F) の組み合わせで暗号を作成します。

※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④ [使用する暗号化キー番号] を [暗号化キー1番号~4番号] で選択する

⑤ 指定した番号 (1番~4番) に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

※ 152bitWEP を使用する場合

子機を使用するパソコンが Windows® XP の場合、サテライトマネージャで設定する必要があります。(●P31)



4

無線のセキュリティ対策をする

(次ページに続く)

■暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場 合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する
- ② [WPA 暗号化キー] を入力する

暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

- ・ 8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

- ③ [暗号化更新時間] で暗号化の更新時間を入力する
更新時間は、0（更新なし）、1～1440分の間で設定できます。

6 [設定] をクリックする

7 [登録] をクリックする

本商品（親機）前面の各ランプが点滅して、本商品（親機）が再起動します。（暗号化キーを設定していない子機から接続できなくなります。子機の暗号化の設定を行ってください。（☛P33、40）

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し
(●P75)、はじめから設定し直してみてください。

- ・ 設定に関するトラブル (● 下記)
- ・ ユーティリティに関するトラブル (●P57)
- ・ 子機に関するトラブル (●P58)
- ・ ご利用開始後のトラブル (●P64)
- ・ 添付の CD-ROM に関するトラブル (●P64)
- ・ パソコンのネットワークを設定する (●P65)
- ・ JavaScript® の設定を確認する (●P71)
- ・ 本商品 (親機) を初期化する (●P75)
- ・ 自動診断を行う (●P77)

設定に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのかをご確認のうえ、トラブルに対する原因と対策をご
覧ください。

本商品前面の POWER ランプは点灯していますか？

↓ はい

→ いいえ
(a 参照 ●P54)

本商品背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED は点灯して
いますか？

↓ はい

→ いいえ
(b 参照 ●P54)

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？

(確認方法は、P55 を参照してください)

↓ はい

→ いいえ
(c 参照 ●P55)

本商品の設定が行えますか？

WWW ブラウザ (クイック設定 Web) で設定画面が表示でき
ますか？

→ いいえ
(d 参照 ●P56)

らくらくウィザードが使用できますか？

→ いいえ
(e 参照 ●P56)

↓ はい

インターネットに接続できますか？

→ いいえ
(f 参照 ●P56)

a.本商品前面のPOWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが外れている →電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ●電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントから外して、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。


b.本商品背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しない

症 状	原因と対策
ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていない。 →ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ●ETHERNET ケーブルが本商品とブロードバンドモデム/回線終端装置の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。

c.パソコンにIPアドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	<p>● パソコンのネットワークの設定でパソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されている必要があります。(☛P65) 下記の方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する</p> <p>b. 次の手順でIPアドレスを取り直す</p> <p>< Windows® XP の場合 ></p> <p>① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする</p> <p>② 「ipconfig」と入力して、[Enter] キーを押す</p> <p>③ IPアドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する</p> <p>< Windows® 2000 Professional の場合 ></p> <p>① [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックする</p> <p>② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す</p> <p>③ IPアドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する</p> <p>< Windows® Me/98SE/98 の場合 ></p> <p>パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンを再起動してから確認してください。</p> <p>① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする</p> <p>② 「winipcfg」と入力して [OK] をクリックする</p> <p>③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択する</p> <p>④ IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する</p> <p>→ IPアドレスが「192.168.0.XXX」と表示されない場合は、P65を参照して、IPアドレスを設定してください。</p>

d.WWW ブラウザで設定画面が表示されない (クイック設定 Web が起動しない)

症 状	原因と対策
<p>WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://192.168.0.210/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.210/」です。IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [プロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「http://192.168.0.210/」を入れる ● お使いのパソコンにファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
<p>WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求される</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求されます。 → ユーザー名には、[admin] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで本商品に一番最初にアクセスした際に、登録した管理者パスワードを入力してください。ただし、らくらくウィザードから本商品に対して、パスワードを登録した場合は、そのパスワードを入力してください。
<p>クイック設定 Web が開かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript® を無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください (● P71「JavaScript® の設定を確認する」)。

e.らくらくウィザードが使用できない

症 状	原因と対策
<p>パソコンのネットワークの設定が正しくされていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● P65 の「パソコンのネットワークを設定する」を参照して正しく設定を行ってください。

f.インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
<p>インターネットに接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのネットワークの設定が正しくされていない。 → 設定後、パソコンの IP アドレス、ネットマスクはお使いのネットワーク体系に合わせて設定を行ってください。

ユーティリティに関するトラブル

●らくらくウィザードに関する問題


症 状	原因と対策
Windows® XP/2000 Professionalで、らくらくウィザードがインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> ● Administrator 権限のあるユーザでログインしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザでログインしてください。「Administrator」権限のないユーザではインストールが行えません。

●クイック設定 Web に関する問題


症 状	原因と対策
バージョンアップに失敗して、本商品（親機）のPOWERランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●フラッシュROMに書かれているプログラム（ファームウェア）が消えています。 →別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品（親機）を工場出荷状態に初期化してください。（☛P76「ディップスイッチで初期化する」） →この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。 ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（☛P30）
本商品のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。「情報」の「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
【設定】 ボタンを押しても、状態が反映されない	<ul style="list-style-type: none"> ●登録ボタンを押していない →各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の「登録」ボタンを押し、本商品（親機）を再起動する必要があります。
【登録】 ボタンを押した後に、「ページを表示できません」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品（親機）が再起動しているためです。 →【登録】 ボタンを押すと、本商品（親機）が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。


子機に関するトラブル

症 状	原因と対策
ネットワーク名を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●有線LAN (ETHERNET ポート) のパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線LAN側設定] で確認してください。 ●サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして本商品（親機）を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できます。
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線LAN側設定] で確認してください。
本商品（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ●本商品（親機）の拡張カードスロットに無線LANカードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているかを確認してください。 ●本商品（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●子機のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、子機が本商品（親機）を正しく認識していません。本商品（親機）との通信の設定をやり直してください。 ●ネットワーク名（ESS-ID）があるか、確認してください。 本商品（親機）の設定値は、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線LAN側設定] 内の「アクセスポイント設定」で確認できます。 ※本商品（親機）の出荷時設定は、WARPSTAR-XXXXXX です。 (XXXXXXはMACアドレスの下6桁) ●暗号化を有効にしている場合は、本商品（親機）と暗号キーが一致しているか、確認してください。 ●通信モードがあるか、確認してください。 本商品（親機）との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。 ※通信モードは、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。

症 状	原因と対策
<p>本商品（親機）に接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子機のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①[スタート] - [(すべての) プログラム] - [WARPSTAR ユーティリティ] - [ドライバのアンインストール] をクリックする ②画面の指示に従ってドライバをインストールする ●上記の手順でも正しくインストールされていない場合は、次の手順で再インストールしてください。 <p>以下は子機（WL54AG）の例です。 < Windows® XP の場合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ①添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、 をクリックして閉じる ②[スタート] - [コントロールパネル] をクリックする ③[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする ④[システム] アイコンをダブルクリックする ⑤[ハードウェア] タブをクリックする ⑥[デバイスマネージャ] をクリックする ⑦[ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑧[NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する ⑨[ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする ⑩次の手順で再インストールを行う <ul style="list-style-type: none"> a. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックする。 b. 「次の場所で最適のドライバを検索する」と「次の場所を含める」にチェックし、[参照] をクリックする。 c. CD-ROM ドライブから [Drv] - [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする d. [次へ] をクリックする e. [続行] をクリックする f. インストールが完了したら、[完了] をクリックする ⑪CD-ROM を取り出す

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
<p>本商品（親機）に接続できない</p>	<p>⑫ WL54AG のドライバのインストールを確認する</p> <ol style="list-style-type: none"> a. [スタート] - [マイコンピュータ] - [システム情報を表示する] をクリックする b. [ハードウェア] タブをクリックする c. [デバイスマネージャ] をクリックする d. [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする e. [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する <p>< Windows® 2000 Professional の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、 をクリックして閉じる ② [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする ③ [システム] アイコンをダブルクリックする ④ [ハードウェア] タブをクリックする ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑦ [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する ⑧ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする ⑨ 次の手順で再インストールを行う <ol style="list-style-type: none"> a. [次へ] をクリックする b. [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ] をクリックする c. [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックする d. [参照] をクリックする e. CD-ROM 内の [Drv] - [Win2000] フォルダを選択し、[開く] をクリックする f. [OK] をクリックする g. [次へ] をクリックする h. 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたときは [はい] をクリックする i. インストールが完了したら [完了] をクリックする ⑩ CD-ROM を取り出す

症 状	原因と対策
<p>本商品（親機）に接続できない</p>	<p>⑩ WL54AG のドライバのインストールを確認する</p> <ol style="list-style-type: none"> [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [ハードウェア] タブをクリックする [デバイスマネージャ] をクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する <p>< Windows® Me の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、 をクリックして閉じる [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [デバイスマネージャ] タブをクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする 次の手順で再インストールを行う <ol style="list-style-type: none"> [ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）] をクリックし、[次へ] をクリックする 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」と「検索場所の指定」にチェックし、[参照] をクリックする CD-ROM 内の [Drv] - 「WinMe」フォルダを選択し、[OK] をクリックする [次へ] をクリックする [次へ] をクリックする インストールが完了したら [完了] をクリックし、画面の指示に従ってパソコンを再起動する CD-ROM を取り出す ⑩ WL54AG のドライバのインストールを確認する <ol style="list-style-type: none"> [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [デバイスマネージャ] をクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが本商品（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● データ保護（暗号化）を有効にしている場合は、本商品（親機）と暗号化キー、暗号化強度が一致しているか確認してください。 ● Windows® XP をご利用の場合は、[Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。
サテライトマネージャの「ネットワークの参照」で本商品（親機）が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態により、「ネットワークの参照」で本商品（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力して検索し直してください。 ● クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] の「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力するか、ETHERNET 接続のパソコンから「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。 ● 子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ● ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
「らくらくウィザード」の「無線カードの設定」画面で「親機の設定も同時に切り替える」がグレーアウト（選べない状態）して設定できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品（親機）との接続ができていません。「本商品（親機）に接続できない」（●P58）を確認してください。
本商品（親機）と子機の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の届く範囲まで子機を移動したり、本商品（親機）と子機の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
「パソコン間通信」で通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信モードを「パソコン間通信」でご使用の場合は、[チャンネル番号] が一致しているか、確認してください。 ● WL54AG で「パソコン間通信」を行う場合は、[無線動作モード] の「802.11a」または「802.11b」を選択してください。 ※ [チャンネル番号]、[無線動作モード] の確認は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。

症 状	原因と対策
Windows® XPの「ワイヤレスネットワーク」の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●固定IPアドレスでお使いの場合は、本商品（親機）と子機に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：本商品（親機）が192.168.0.210のとき、子機は192.168.0.XXX
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●本商品（親機）と子機が近すぎる場合は、本商品（親機）と子機を1m以上離してください。 また、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてください。ただし、その場合は、遠くにある子機から接続しにくくなります。
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ●サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AVサーバのレートを下品質に下げてください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となる場所に移動させてください。
「親機同時設定」ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品（親機）のIPアドレスを変更している→らくらくウィザードで、親機のIPアドレス192.168.0.210で登録したあと、IPアドレスを変更してしまった場合、子機（WL54AG）から「親機の設定も同時に切り替える」が使えなくなります。この場合、この機能を使用するためには再度、らくらくウィザードで「WARPSTAR（親機）のIPアドレス」で変更したIPアドレスを設定します。 ●子機のパソコンのIPアドレスと本商品（親機）のIPアドレスのネットワークアドレスが一致していない。 →本商品（親機）のIPアドレスは、出荷時の設定で「192.168.0.210」になっています。子機のパソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていないと本商品（親機）を認識できません。子機のパソコンのIPアドレスを「192.168.0.XXX」に変更して接続してください。（P65）

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。 (●P75「本商品（親機）を初期化する」)
本商品のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定 Web「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	<p>CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。</p> <p>→表示したくない場合は、以下のいずれかの方法でメニューを消してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不要な場合は <input checked="" type="checkbox"/> をクリックします。(機種によっては [終了] をクリックします。) ●Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me/98SE/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます (ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります)。 <p>① [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックする</p> <p>② [デバイスマネージャ] タブの [CD-ROM] をダブルクリックする</p> <p>③ 使用する CD-ROM ドライブをクリックし、[プロパティ] をクリックする</p> <p>④ [設定] タブをクリックする</p> <p>⑤ [オプション] の [自動挿入] または [挿入の自動通知] のチェックを外す</p> <p>⑥ [OK] をクリックし、Windows® Me/98SE/98 を再起動する</p>

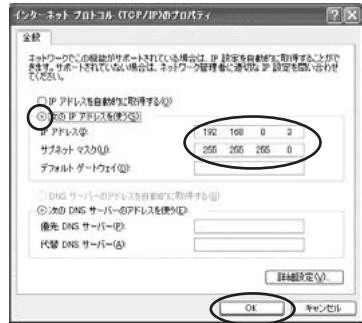
パソコンのネットワークを設定する

本商品（親機）をETHERNETポートに接続したパソコンから設定する際には、パソコンを次のようにIPアドレスを固定に設定します。設定後は、使用するネットワーク体系にあわせてIPアドレス/ネットマスクの設定を行ってください。

Windows® XPの場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [次のIPアドレスを使う] をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力して [OK] をクリックする

IPアドレス：
192.168.0.XXX（XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス）
サブネットマスク：255.255.255.0
- 6 [OK] または [閉じる] をクリックする
- 7 [戻る] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] 画面の [インターネットオプション] をクリックする



(次ページに続く)

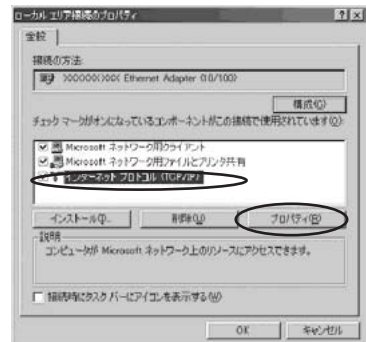
- 8 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、[ダイヤルしない] を選択する



- 9 [OK] をクリックする

Windows® 2000 Professional の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



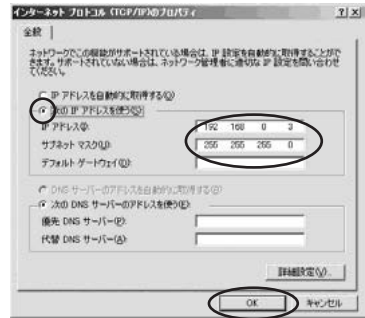
- 5 [次のIPアドレスを使う] をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力して [OK] をクリックする

IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～199、
211～254の数字で同一ネットワーク
内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



- 6 [OK] をクリックする

- 7 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

- 8 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、[ダイヤルしない] を選択する



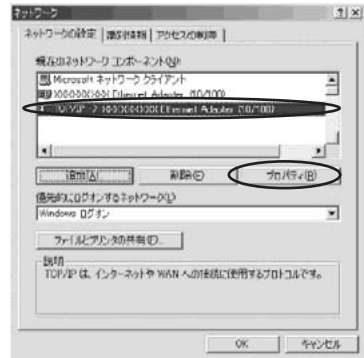
- 9 [OK] をクリックする

Windows® Me/98SE/98 の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

3 リストの [TCP/IP ->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレスを指定] をクリックして、IP アドレス、サブネットマスクに次のように入力する

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、
211 ~ 254 の数字で同一ネットワーク
内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク :

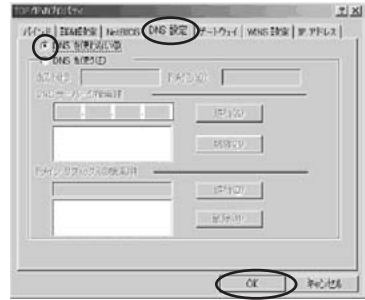
255.255.255.0



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



- 6 [DNS 設定] タブをクリックし、
[DNS を使わない] を選択して
[OK] をクリックする



- 7 [OK] をクリックする

- 8 再起動の指示があった場合はパソコンを再起動する

- 9 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

- 10 [接続] タブをクリックし、リスト
にダイヤルアップの設定がある場合
は、[ダイヤルしない] を選択する



- 11 [OK] をクリックする

Mac OS X の場合

以下は、Mac OS X 10.2の例です。

1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する

2 [TCP/IP] タブをクリックして、[表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [手入力] にする

3 IPアドレスとサブネットマスクを次のように入力する

IP アドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～209、
211～254の数字で同一ネットワーク
内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

Mac OS 9.x/8.x の場合

1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く

2 [経路先] を [Ethernet] にする

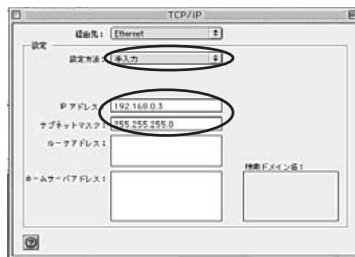
3 [設定方法] を [手入力] にし、IP
アドレスとサブネットマスクを次の
ように入力する

IP アドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～209、
211～254の数字で同一ネットワーク
内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする

JavaScript[®] の設定を確認する

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript[®] の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定できない場合は、以下の手順で JavaScript[®] を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer の場合

Windows[®] XP の場合（Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。）

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [クラシック表示に切り替える] - [インターネットオプション] をダブルクリックする
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 3 [サイト] をクリックする
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す
- 5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.0.210/] を入力し [追加] をクリックし、[OK] をクリックする
※本商品（親機）の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする



（次ページに続く）

8

【アクティブ スクリプト】を【有効にする】に変更し、【OK】をクリックする




9

【適用】をクリックする

10

【OK】をクリックする

Mac OS X の場合 (Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。)

- 1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの [Explorer] から [環境設定] をクリックする
 - 2 [Web ブラウザ] から [セキュリティゾーン] をクリックする
 - 3 [ゾーン] から [信頼済みサイトゾーン] をクリックする
 - 4 [サイトの追加] をクリックする
- 
- 5 [追加] をクリックする
 - 6 [http://192.168.0.210/] と入力する
※本商品 (親機) の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
 - 7 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す
 - 8 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする
 - 9 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる
 - 10 [OK] をクリックし、メニューバーの [Explorer] から [Explorer 終了] をクリックする

※ WWW ブラウザ (Internet Explorer) を一度終了させないと、設定は反映されません。

Netscape® の場合

Windows® XPの場合 (Netscape® のバージョン7.0の例です。)

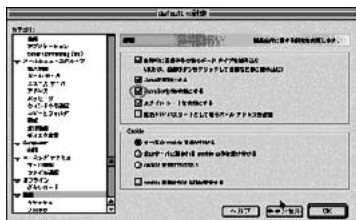
- 1 Netscape® を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
- 4 [JavaScriptを有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックする

Mac OS Xの場合 (Netscape® のバージョン6.0の例です。)

- 1 Netscape® を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] をクリックする
- 4 [JavaScriptを有効にする] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックし、メニューバーの [Netscape] から [Netscapeを終了] をクリックする

※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

本商品（親機）を初期化する

初期化とは、本商品（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。

対処をしても問題が解決しない場合は、本商品（親機）を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。初期化を行うと本商品（親機）のすべての設定が消去されますのでご注意ください。ただし、初期化を行う前に、現在の設定内容をパソコンのハードディスク内に保存すれば、初期化後、復元することができます。（●P30）

なお、初期化を行っても、お客様がバージョンアップした親機のファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.210/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本商品（親機）の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [メンテナンス] の ▼ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



6 [OK] をクリックする

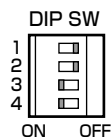
本商品（親機）前面の各ランプが点滅して、本商品（親機）が再起動します。

ディップスイッチで初期化する

本商品（親機）のディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、背面にあります。

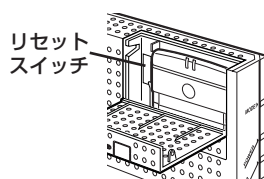
1 本商品（親機）の背面のディップスイッチの3、4を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。（スイッチの根元に力を加えて切り替えてください。）

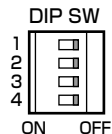


2 本商品（親機）のリセットスイッチを押す

前面ランプが交互に点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。



3 ディップスイッチの3、4を「OFF」に戻す



4 リセットスイッチを押す

リセットスイッチを押すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

自己診断を行う

自己診断を行うと、本商品（親機）のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

- 自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

1 本商品（親機）のETHERNETポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取り外す

2 本商品背面のディップスイッチの3を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

3 本商品（親機）のリセットスイッチを押す

自己診断を開始します。

<診断中のランプ表示>

POWERランプが橙色に点灯します。



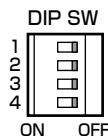
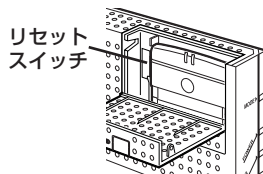
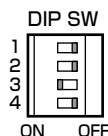
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、POWERランプが橙色／緑色と交互に点滅します。

4 ディップスイッチの3を「OFF」に戻す

5 リセットスイッチを押す

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあげてください。

6 取り外したケーブルを接続する



お願い

- ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

? 異常が発見されたときは

- 自己診断の手順3で、正常に終了せず、異常が発見されたときは、別紙に示す修理持ち込み先または、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。

お問い合わせについて

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」をご参照のうえ、本商品添付の「サポート窓口案内」もしくは、ご契約いただいたプロバイダのお問い合わせ先へお問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、ご契約のプロバイダへお願いいたします。

本商品の輸送時のお取り扱いについて

故障やレンタルの解約などで、本商品を返却する際には、本商品一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本商品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してください。

返却先は、ご契約いただいたプロバイダのお問い合わせ先にてご確認ください。

WL7600AP (親機) ハードウェア仕様

項目		諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	インタフェース	ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX/10BASE-T)		Auto MDI-X 対応
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps		
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート		
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T		Auto MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps		
	スイッチング HUB	ストア&フォワード方式、 Mac アドレス数：1024 (自動学習)		
	全二重/半二重	全二重/半二重		自動切替
無線 LAN インタ フェース (WL54AG 装着時)	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャンネル	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 20m(54Mbps)~90m(6Mbps) ※屋外使用禁止	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 20m(54Mbps) ~ 180m(1Mbps) IEEE802.11g+b 通信モードのみ	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 50m(11Mbps) ~ 180m(1Mbps)	
アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)			
セキュリティ	ESS-ID、WEP (152/128/64bit)、TKIP、AES			
ヒューマン インタ フェース	状態 表示 ランプ	MODE	無線の通信モードによって点灯	
		POWER	電源通電時点灯	
		AIR	無線データ通信時	
		DATA	データ通信時点灯	
動作環境	温度 0 ~ 40℃ 湿度 10 ~ 90%		結露しないこと	
外形寸法	約 25 (W) × 157 (D) × 215 (H) mm		突起部分を除く	
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz			
消費電力	最大約 8W			
質量(本体のみ)	約 0.6kg			
VCCI	VCCI クラス B			

(次ページに続く)

※表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

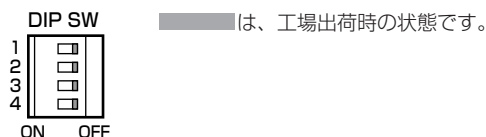
※Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定は、本商品（親機）の暗号化モードが暗号化無効または、64bit/128bit WEP の場合のみ利用可能です。

WL7600AP（親機）のディップスイッチ

本商品（親機）の背面にディップスイッチ（DIP SW）があります。ディップスイッチは以下の①～④の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

- ①自己診断するとき（☛P77）
- ②購入したときの状態に戻すとき（☛P76）
- ③IEEE802.11a専用通信モードを利用するとき
本商品（親機）では、ワイヤレス LAN 通信の初期値が IEEE802.11g + IEEE802.11b 通信モードに設定されています。そのため、IEEE802.11a 通信のみに対応した子機（WL54AC）から通信を行う場合は、IEEE802.11a モードに変更しないと、接続できません。クイック設定 Web またはらくらくウィザードからの変更なしにディップスイッチで、本商品（親機）を「IEEE802.11a専用通信モード」に設定する場合に使用します。
- ④本商品を単独で設定するとき

●ディップスイッチ工場出荷時の設定



●ディップスイッチの変更

1	2	3	4	内 容
OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	ON	OFF	自己診断
OFF	OFF	ON	ON	購入したときの状態に戻す（初期化）
ON	OFF	OFF	OFF	802.11a専用通信モード
OFF	ON	OFF	OFF	DHCP サーバ機能を有効にする設定 （本商品を単独で設定する場合のモードです。）

は、工場出荷時の状態です。



お願い

- ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

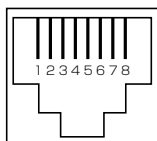


お知らせ

- 電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

WL7600AP（親機）のETHERNETポートインタフェース

コネクタ形状



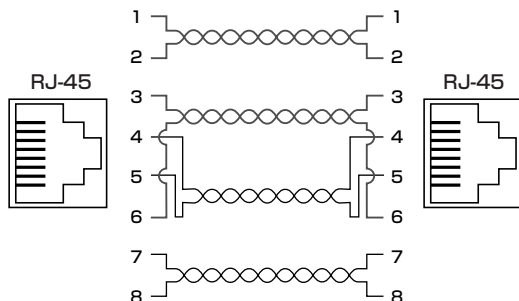
●ETHERNETポート (100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNETケーブル（カテゴリー5）



WL54AG (子機) 仕様

■ 仕様一覧

項目		諸元		備考
端末インタフェース		Card Bus		
無線LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャンネル	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 20m(54Mbps)~90m(6Mbps) ※屋外使用禁止	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 20m(54Mbps)~180m(1Mbps)	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2400-2497MHz) /1 ~ 14ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度(※1)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)	
		伝送距離	[見通し] 50m(11Mbps)~180m(1Mbps)	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)		
	セキュリティ	ESS-ID、WEP (152/128/64bit)、TKIP、AES		
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 2		
利用可能端末		PC-AT 互換機		
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 (※ 2) Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® Me 日本語版		
電源		DC3.3V × 710mA		パソコンから 給電
消費電力		約 2.4W (最大)		
外形寸法 (mm) (W × H × D)		約 54 × 5 × 118		
質量		約 0.05kg		
動作環境		温度 0 ~ 40℃ 湿度 10 ~ 90%		結露しないこと

※ 1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

※ 2 Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定は、本商品 (親機) の暗号化モードが暗号化無効または、64bit/128bitWEP の場合のみ利用可能です。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. License Grant and Limitations. The End User License Agreement shall state that:

Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability. In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. Third Party Beneficiary. The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:

Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. U.S. Government Use. All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. Export Restrictions. The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまえば能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

お願い

- ・ **パソコンの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**各パソコンのサポートセンター**などへお願いいたします。
- ・ **回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、**ご契約のプロバイダ**へお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。